

横浜美術館コレクション

昭和の肖像

写真でたどる「昭和」の人と歴史

会期：2018年7月6日(金)から9月3日(月)



須田一政《わが東京：青梅》1977年（昭和52） 横浜美術館蔵



概 要

上毛かるたで「県都前橋生糸の市（まち）」と謳われるように前橋はかつて生糸産業で発展しました。群馬で生産された生糸は「マエバシ」と呼ばれ、横浜港を通じて海外へ出荷されたのです。前橋と横浜を繋ぐ絹の道が日本の近代化を支えたといっても過言ではありません。

また横浜は、幕末に西欧からもたらされた写真技術の普及の拠点として、日本の写真草創期において極めて重要な役割を担った場所でもあります。その地に設立された横浜美術館は、多岐にわたる芸術分野のうち特に「写真」を大きな柱に位置づけ、収集活動をおこなっています。本展では、横浜美術館の豊富な写真コレクションの中から「昭和」（1926～1989）という時代にフォーカスした 335 点の作品を一挙公開します。

本展では、第 1 章「人物：時代を彩った顔」と、第 2 章「時代と風景・風俗」の 2 部構成により、昭和を生きた著名人たちのポートレート、そして昭和という時代そのものを映し出した風景・風俗写真を通して、今日の日本の社会構造と生活環境の基礎を形づくった「激動の時代」を振り返ります。



浜口タカシ 《原爆ドーム（「人類初の惨禍」より）》
1966 年（昭和 41） 横浜美術館蔵



石内都 《絶唱、横須賀ストーリー #58（久里浜）》
1976-77 年（昭和 51-52） 横浜美術館蔵

開催概要

- 【展覧会名】 横浜美術館コレクション 昭和の肖像—写真でたどる「昭和」の人と歴史
- 【会 期】 2018 年 7 月 6 日（金）から 9 月 3 日（月）
- 【開館時間】 11：00～19：00（入場は 18：30 まで）
- 【休 館 日】 水曜日
- 【会 場】 アーツ前橋 地下ギャラリー（群馬県前橋市千代田町 5-1-16）
- 【観 覧 料】 一般：500 円／学生、65 歳以上、団体（10 名以上）：300 円／高校生以下無料
※障害者手帳等をお持ちの方と介護者 1 名は観覧無料
※「夏休みキッズフェスタ 2018」開催の 8 月 18 日（土）と「ワールドフォトグラフィーデー」の 8 月 19 日（日）は観覧無料
※本展会期中割引…以下の条件でご来場の方は、観覧料 300 円
①トワイライト割（開館中の 17：00 以降にご来場された方）
②猛暑割：最高気温 35 度以上の日にご来場された方
③家族割：中学生以下のお子様をお連れの保護者の方
- 【主 催】 アーツ前橋
- 【特別協力】 横浜美術館

- 【展示作家】 秋山庄太郎、荒木経惟、安藤不二夫、石内都、石川真生、奥村泰宏、金村修、アンリ・カルティエ＝ブレッソン、木村伊兵衛、ロバート・キャパ、桑原甲子雄、渋谷龍吉、須田一政、土田ヒロミ、常盤とよ子、土門拳、中川一夫、中平卓馬、浜口タカシ、濱谷浩、林忠彦、原田正路、福田勝治、福原路草、藤本四八、堀不佐夫、緑川洋一、森村泰昌、師岡宏次、八木治
*全 30 作家

同時開催

- 【展覧会名】 時をつなぐ アーツ前橋所蔵作品から
- 【会 期】 2018 年 6 月 14 日（木）から 9 月 18 日（火）
- 【休 館 日】 水曜日
- 【会 場】 アーツ前橋 1F ギャラリー
- 【観 覧 料】 無料

プレスレビュー

期日：7 月 5 日（木）

時間：14：00～19：00（※最終入場時間は 18：30）

14：30 より担当学芸員による作品解説を実施します。

関連イベント

① レクチャー 「戦時下の写真家たち」

講師： 倉石信乃（明治大学教授・写真史）
日時： 7月28日（土）14：00～16：00
会場： アーツ前橋 スタジオ
定員： 40名 ＊事前申込制 （アーツ前橋へ電話 Tel.027-230-1144）
参加費： 無料

② 石内都（本展出品作家）×小泉明郎（アーティスト） 対談

日時： 8月11日（土・祝）14：00～15：30
会場： アーツ前橋 スタジオ
定員： 40名 ＊事前申込制 （アーツ前橋へ電話 Tel.027-230-1144）
参加費： 無料

③ 学芸員によるギャラリートーク

日時： 7月22日（日）、8月18日（土）14：00～14：30
集合場所：アーツ前橋 1階総合案内前
参加費：無料 ＊申込不要、7月22日のみ要観覧券、8月18日は観覧無料

④ ロビーライブ vol.17 ジャズ

アーツ前橋で行う小さな音楽ライブ。県内で音楽イベントを実施している方をコーディネーターに迎え、第17回はジャズを紹介します。

日時： 8月19日（日）13：00～、14：30～
ゲスト： 福田重男・三木俊雄D U O
会場： アーツ前橋 交流スペース ／料金：無料 ＊申込不要

◎前橋写真月間 2018

本展の協力企画として、街なかの他の場所でも期間中に写真展やイベントが開催されます。

日程：7月5日（木）～8日（日）、14日（土）～16日（月・祝）、21日（土）、

22日（日）、28日（土）、29日（日） 12：00～19：00

場所：Maebashi Works（千代田町2-7-17）、

map 前橋“市民”ギャラリー（千代田町2-12-7）、

mbf アートスペース（旧前橋文化研究所）（本町2-18-8）

参加作家：滝沢広／多和田有希、三田健志、荻原林太郎

主催：前橋写真月間 お問い合わせ：maebashiphoto2018@gmail.com

イベント：フリースタイルフォトバトル

日時：7月28日（土）19：00～

@ロブソンコーヒーアーツ前橋店

参加作家：加納俊輔、木暮伸也、柴田祐輔、

滝沢広、多和田有希、万代洋輔

本展の見どころ

1. 国内有数の写真コレクションで知られる横浜美術館

日本で最初の独立した写真部門を持つ美術館として 1989 年に開館した横浜美術館の写真コレクションの中から、昭和（1926 - 1989）という時代を映し出した 335 点の写真作品をご紹介します。「平成」という時代が終焉を迎える今、「昭和」は過去の歴史として刻まれてゆきます。この時代の変化の中で、改めて「昭和」という激動の時代を当時の風景・風俗写真を通じて振り返ります。

2. 昭和の写真史を代表する作家の作品

昭和は、日本の写真史にとって大きな変革の時代でした。戦後の民主化の中で、市井の人々にカメラを向けることで「リアリズム写真」の第一人者となった土門拳や木村伊兵衛の作品から、「私小説」的な手法を取り入れ、自身の生活の一部を撮り続けた荒木経惟の作品など、昭和を代表する作家たちの作品をご紹介します。

3. 専門家によるトークイベント

関連イベントとして、専門家をお迎えしてのレクチャーと対談を開催します。

明治大学教授で写真史をご専門にされる倉石信乃氏による「戦時下の写真家たち」と題したレクチャーを開催します。倉石氏は、横浜美術館に開館から 2007 年まで学芸員として在任し、横浜美術館の核となる写真コレクションの形成に大きく寄与された方でもあります。

また、対談には、アジア人女性としては初となるハッセルブラッド国際写真賞を受賞し、今回の出品作家でもある石内都氏と国内外で活躍するアーティストの小泉明郎氏をお迎えします。石内氏は群馬県桐生市、小泉氏は群馬県邑楽郡のご出身であり、本県出身で国際的に活躍するアーティスト 2 名による貴重な対談となります。

主な展示作品



1



2



3



4



5

1. 浜口タカシ《原爆ドーム「人類初の惨禍」より》1966年（昭和41）
2. 石内都《絶唱、横須賀ストーリー #58（久里浜）》1976-77年（昭和51-52）
3. 林忠彦《整列する防空女子通信隊》1942年（昭和17）頃
4. 渋谷龍吉《銀座フォトモンタージュ》 撮影年不詳
5. 須田一政《わが東京：青梅》1977年（昭和52）

※全作品 横浜美術館蔵

記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名称と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材、収録等は、必ず事前にお問い合わせください。

お問い合わせ

アーツ前橋

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課 担当：今井(学芸担当)、堺(広報担当)

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16

TEL：027-230-1144 FAX：027-232-2016

URL：http://www.artsmaebashi.jp/

Email：artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

交通案内

アーツ前橋

[公共交通機関]

JR 前橋駅から徒歩約 10 分

上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約 5 分

[自動車]

関越自動車道 前橋 I.C から車で約 15 分



※ [P]マークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に4時間無料の割引処理をいたします。

アーツ前橋企画展「横浜美術館コレクション 昭和の肖像—写真でたどる「昭和」の人と歴史」 広報用画像申込書

アーツ前橋 広報担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○を付けてください。画像(JPEG)をメールにてお送りいたします。

*本展覧会の広報を目的とする場合に限り、ご提供いたします。個人のブログへの掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご
提供できません。

*掲載にあたっては、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

番号	キャプション・クレジット等
【1】	浜口タカシ《原爆ドーム（「人類初の惨禍」より）》1966年（昭和41） ゼラチン・シルバ ー・プリント 横浜美術館蔵 / 1、5頁
【2】	石内都《絶唱、横須賀ストーリー #58（久里浜）》1976-77年（昭和51-52） ゼラチン・ シルバー・プリント 横浜美術館蔵 / 1、5頁
【3】	林忠彦《整列する防空女子通信隊》1942年（昭和17）頃 ゼラチン・シルバー・プリント 横浜美術館蔵 / 5頁
【4】	渋谷龍吉《銀座フォトモンタージュ》 撮影年不詳 ゼラチン・シルバー・プリント 横浜 美術館蔵 / 5頁
【5】	須田一政《わが東京：青梅》1977年（昭和52） ゼラチン・シルバー・プリント 横浜美 術館蔵 / 表紙、5頁

◎読者プレゼント用招待券(5組 10名様)

☐希望します

☐希望しません

媒体情報 *できるだけ詳しくご記入ください。

掲載誌：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当者名：
所在地： 〒	
TEL：	FAX：
E-MAIL：	